福島のぶゆき国会日誌

＜御礼　衆議院議員福島のぶゆき君を育てる会＞

5 日、7 年ぶりの東京での政治資金パーティーとなる「衆議院議員福島のぶゆき君を育てる会」を開催していただき、多くの方にご来場いただきました。地元からも、バスに乗って多くの支援者の皆さんにいらしていただきました。

会場には、有志の会の同志たちに加え、立憲民主党、国民民主党、れいわ新撰組、自民党など党派を超えて親しくしていただいている同僚議員も駆けつけてくださり、当選同期の玉木雄一郎国民民主党代表にご挨拶をいただきました。有志の会の吉良州司代表からは「政界の暴れ馬」、北神圭朗「土が生んだ政治家」とご紹介いただき、会場から複雑な笑いが沸き起こりました。

お土産には『令和の政治改革』という小冊子をお配りしました。朝日新聞社の言論サイト「論座」に 7 回にわたって連載した対談をまとめたものです。定価 700 円にて頒布しておりますので、ご希望の方は事務所までご連絡ください。

＜台湾訪問　蔡英文総統と面会＞

9・10 日、日華議員懇談会の役員として台湾の中華民国国慶双十節に参列するため、台北を訪問いたしました。

蔡英文総統最後の双十国慶節祝賀式典では日本側の 50 名近い超党派の国会議員と台湾の国会議員とで、一緒にパレードをしました。蔡総統は、私たち日本の国会議員団との昼食会で、「日本が一番好きな国で、退任したら日本を訪れたい」とおっしゃっていました。

＜日本パレスチナ友好議員連盟総会＞

3 日、日本パレスチナ友好議員連盟総会が開かれ、出席した国会議員は 10 人に満たなかったですが、ラザリーニ UNRWA（国連パレスチナ難民救済事業機関）事務局長と一緒に来日した 3 人のパレスチナ人中学生の話を聞いてきました。

3 人の中学生に来の夢を聞いたところ、「国際ジャーナリストになってパレスチナの現状を世界に知らせたい」「科学者になって気候変動のような世界的な課題にパレスチナが科学で貢献できることを示したい」などと流暢な英語で答えてくれました。

その翌週には、パレスチナのハマスによるイスラエルへの攻撃のニュース。3 人の中学生の胸のうちを思うと心が痛みます。

読売新聞でイスラエルのエルサレムから記事を配信している福島利之は福島伸享の弟です。ぜひ日々の記事にご注目ください。

＜韓国大使館レセプション＞

3 日、韓国の国慶日及び国軍の日のレセプションに出席しました。昨年も韓国の政権が代わって日韓関係の改善の期待から大勢の人が来ていましたが、今年はそれを超える来客で盛り上げっていました。茨城県の民団関係者の方々もいらっしゃっていて、一緒に日韓関係改善を喜び合いました。

＜茨城県自衛隊殉職隊員追悼式に参列＞

6 日、茨城県自衛隊殉職隊員追悼式に参列いたしました。戦後の平和な社会の中で殉職される自衛隊員がかなりいることは、あまり知られていません。「事に臨んでは危険を顧みず」と服務の宣誓を行う自衛隊の皆さんは、国民の見えないところで厳しい訓練や危険な作業に従事し、命を失ってしまうことがあるのです。これまで茨城県の関係者では、60 人の方が亡くなっています。

国を守るという崇高な仕事に就き、犠牲になられた方に思いを馳せ、名誉を守るのは、国会議員の一つの役割であると考えます。

衆議院議員 福島伸享事務所【国会事務所】〒100-8982　東京都千代田区永田町 2-1-2　衆議院第二議員会館 419 号　☎ 03 - 3508 - 7262